

不義をやりんを禮をやりん。道小龍ける夷狄の奉止。急き富  
 士川を陣し。退還んと。敦圉檄書と回して。評議も成さず  
 領國へ夏嚴ふ拘う。駿遠参の惣軍勢。合せて二万五千余  
 騎。段々小隊伍と構。富惣川の南へ出陣せり。厥先陣の大將  
 朝比奈備中守泰次右兵衛大夫泰次郎の長男遠州掛川の城主二万六千石と領二陣へ飯尾豊春守  
 武茂遠州引馬野の城主豊春守諸三陣へ徳大將。今川治部大捕義元。  
 一萬二千の猛騎と牽へ。左右小連る勇士あり。庵原右近大夫忠春。  
 安房守忠澄の三男温井藏人。富永伯耆守。関口越中守。井伊肥後  
 守。江間左京亮等羽翼と成て。次第小隊伍と構へり。急  
 如へ松下源太无衛門尉長則。嫡子嘉兵衛尉之細着陣せり  
 と言條を。是よりく松下父子と小荷駄奉行とを定めらる。

諸亦北條氏康の伊藤日向守と先陣と。二陣へ大道寺駿河守。三  
 陣へ松田隼人正各軍兵五千餘騎とを牽ひり。既小富士川の東  
 小魚鱗と成して隊伍が。大將打集評定しける。斯大軍と録  
 発し。大河と隔て現居とも。果しむければ速小川と涉して今川勢  
 と。赴拂えんと先隊あり。伊藤日向守真魁小。馬小拍は騎出を  
 這と看よりす。續けと。坂東武者のあひひるれば。死生も厭を  
 經兵急。一度小川と毆滅し。今川勢と鎬崩せと。伊藤が軍勢  
 五千餘騎。一雜もせむ冲駈る。朝比奈備中守これと看て。三千  
 餘騎と二隊とあり。身方と所指揮して曰。五百へ鎗めて鞍強小。  
 真面目當て駈散よ。残る五百馬小離と。敵と待得て鎬をよ。  
 右の千騎と左の千騎へ。合響と待て堤陰より。先鍊炮と打けよ。